

⑤データ駆動型土づくり推進

【令和5年度予算概算決定額 124（143）百万円】

<対策のポイント>

堆肥の施用量の減少等により、農地土壌の劣化がみられる中、簡便な処方箋サービスの創出に向けたAIによる土壌診断技術の開発、実証等を支援し、科学的データに基づく土づくりを推進する環境を整備します。

<事業目標>

AIによる土壌診断技術の開発 [令和7年度まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

みどりの食料システム戦略において化学肥料の低減が求められている中で、適切な土壌管理に基づく土づくりの推進のため、現場で実用可能な土壌診断技術の創出を支援します。

AIによる土壌診断技術の開発

全国協議会

普及組織
公設試

営農
指導員

民間
事業者



土壌診断の実施



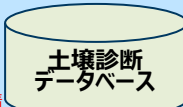
改善結果の検証

土壌診断・
改善結果

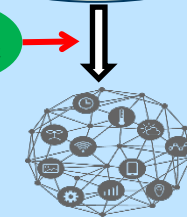
データ蓄積

ベンダー
事業者等

AIシステム
の設計



土壌診断
データベース



AIによる
土壌診断技術の開発



科学的データに基づく
土づくりを推進する環境を整備



産地・農業者

診断結果・処方箋に基づく土づくりにより
収量など農業生産性が向上!

<事業の流れ>

